

荒尾市民病院新病院建設に係る施工予定者選定
公募型プロポーザル審査結果報告書

令和2年7月

荒尾市民病院評価委員会

荒尾市民病院評価委員会

委員長 笥 淳夫

副委員長 勝守 高士

委員 山下 哲郎

梶原 一郎

山本 真一

石川 陽一

北原 伸二

荒尾市民病院新病院建設工事実施設計技術協力業務を委託するに当たって、公募型プロポーザル方式により事業者の選定を行いましたので、次のとおり審査結果を報告します。

1 審査結果

荒尾市民病院評価委員会（以下、「評価委員会」という。）は、参加資格審査及び技術等審査を厳正かつ公正に行った結果、次の者を最優秀提案事業者の候補者（以下、「最優秀者」という。）及び次点者に特定しました。

最優秀者 安藤・間・吉村建設工事共同企業体

（ VE 提案採用後概算工事費：10,199,200,000 円【消費税及び地方消費税を含む】 ）

次点者 戸田建設株式会社九州支店

（ VE 提案採用後概算工事費：11,143,000,000 円【消費税及び地方消費税を含む】 ）

2 参加資格審査及び技術等審査までの経過

(1) プロポーザル実施方法の決定

令和2年1月24日（金曜）第1回評価委員会開催。

荒尾市民病院事業プロポーザル方式事業者選定実施要綱に基づく実施手順を確認し、実施要領の技術評価部分、要求水準書及び技術評価の方法に関すること等について決定しました。

(2) 公告

令和2年2月3日（月曜）事業者選定の実施について公告。
荒尾市民病院ホームページに掲載しました。

(3) 参加資格確認申請書の提出

令和2年2月21日（金曜）から令和2年2月26日（水曜）まで募集を実施した結果、
2者から参加資格確認申請書の提出がありました。

(4) 参加資格審査に関する質問書の提出

令和2年2月12日（水曜）までに、2者から質問書の提出がありました。

(5) 質問書への回答

令和2年2月20日（木曜）までに、荒尾市民病院ホームページ上において、質問に対
する回答を掲載し回答しました。

(6) 参加資格審査結果の通知及びプロポーザル関係書類提出の要請

参加資格確認申請書の提出のあった2者について、参加資格を有することを確認し、令
和2年3月5日（木曜）に参加資格審査結果の通知と共に技術提案書提出要請を行いまし
た。

(7) 技術等審査に関する質問書の提出

令和2年3月18日（水曜）までに、2者から質問書の提出がありました。

(8) 質問書への回答

令和2年4月3日（金曜）までに、荒尾市民病院ホームページ上において、質問に対す
る回答を掲載しました。

(9) 提案書の提出

令和2年4月21日（火曜）までに、2者から提案書の提出がありました。

3 技術等審査の経過

(1) 技術等審査の経過

技術等審査は、第2回評価委員会（令和2年5月21日（木曜）開催【委員6名出席
（1名欠席）】及び第3回評価委員会（令和2年6月10日（水曜）開催【委員7名出
席】）において、次の手順で実施しました。

ア はじめに、参加資格審査を通過した2者（H者、I者）に対し、個別にプレゼンテーション・ヒアリングを実施しました。

プレゼンテーションは、技術提案書及びVE提案書について20分以内で説明を求めた後、評価委員との間で40分間のヒアリング（質疑応答の形式）を実施しました。

なお、プレゼンテーション・ヒアリングについては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、WEB会議で行いました。

イ 2者のプレゼンテーション及びヒアリングが終了した後、それぞれの提案について、各委員により採点を行い、技術提案書に関する評価点を算出するとともに、VE提案書の採否（評価）を併せて行いました。

ウ VE提案書の採否については、令和2年5月26日（火曜）に2者（H者、I者）に対して結果を通知し、令和2年6月9日（火曜）迄に、VE提案書の結果を反映したVE提案採用後概算工事費見積書の提出を受けました。

エ VE提案採用後概算工事費見積書の提出を受け、令和2年6月10日（水曜）に第3回評価委員会を開催。実施要項に定めのある実績・技術提案・価格・プレゼンテーションの評価点を合計したものを確認し、評価委員会の総意として、最優秀者にI者（安藤・間・吉村建設工事共同企業体）を特定し、次点者をH者（戸田建設株式会社九州支店）としました。

4 評価事項及び評価結果

（1）評価事項

今回のプロポーザルの評価を行うに当たっては、下記の評価事項・配点で評価することとしました。なお、技術提案の評価については、提出された技術提案書等及びプレゼンテーション・ヒアリングにより、実施、実現できる効果的かつ具体的な取り組みの観点より総合的に項目ごとに各評価委員が「○」又は「×」の評価を行いました。評価点の算出については、項目ごとに「○」の平均点を算出し評価点としました。

なお、評価事項に対する配点は次ページのとおりです（実施要項より抜粋）。

● 評価事項に対する配点

項目	評価項目	配点	
実績	詳細な評価基準については別紙 2-1 を参照	18.0	
技術提案	ア 実施設計段階の実施方針に関する提案	ECI 発注のメリットを生かせる手法	16.0 1項目 2点
		関係者と円滑にコミュニケーションを図る手法	
		コスト増加を抑制できるコントロール手法	
		基本設計の改善できる提案	
		その他提案（4項目まで）	
	イ 施工段階の実施方針に関する提案	隣接する既設病院インフラのノンダウン化への配慮	16.0 1項目 2点
		隣接する既設病院、周辺住民への騒音・振動・安全対策等の配慮	
		コスト増加を抑制できるコントロール手法	
		施工を円滑に進めるために行う関係者とのコミュニケーション手法	
		工事状況の市民への公開方法	
		その他提案（3項目まで）	
	ウ 工期短縮に関する提案	品質を確保した上で工期短縮を図る方法（最大6か月とする）	6.0 1か月1点
	エ 荒尾市内事業者の活用に関する提案	荒尾市内建設事業者の活用方法（2項目）	12.0 1項目 2点
		荒尾市内事業者からの建設資材の購入計画	
上記以外の業種の活用方法			
その他提案			
上記の履行確認・モニタリング方法			
価格	VE 提案採用後概算工事費（条件付き採用可能含む）	30.0	
プレゼンテーション・ヒアリング		2.0	
計		100.0	

(2) 各評価事項の評価

1) 実績評価

実績に関する評価については、実施要項と別に定めた表（別紙 2-1：本報告書の末尾に参考資料として添付）をもとに評価を行いました。評価項目としては、1 会社実績・ISO、2 技術協力業務責任者の能力、3 監理技術者の能力で評価を行いました。

実績評価については、会社及び従事予定の配置技術者ともに、本院が求める実績及び資格を有しており、2者（H者及びI者）ともに満点（18点）の評価でした。

	H社	I社	最大値
実績	18.00	18.00	18.00
工事实績	4.00	4.00	4.00
品質管理・環境マネジメント	2.00	2.00	2.00
技術協力業務責任者の工事实績	4.00	4.00	4.00
技術協力業務責任者の資格	2.00	2.00	2.00
監理技術者の工事实績	4.00	4.00	4.00
監理技術者の資格	2.00	2.00	2.00

2) 技術提案評価

技術提案については、ア 実施設計段階の実施方針に関する提案、イ 施工段階の実施方針に関する提案、ウ 工期短縮に関する提案、エ 荒尾市内事業者の活用に関する提案の4つの項目で評価を行いました。

なお、技術提案の評価については、提出された技術提案書等及びプレゼンテーション・ヒアリングにより、実施、実現できる効果的かつ具体的な取り組みの観点より総合的に項目ごとに各評価委員が「○」又は「×」の評価を行いました。

評価の結果は次ページのとおりです。

	H社	I社	最大値
技術提案	46.00	38.00	50.00
実施設計段階の実施方針に関する提案	14.00	10.33	16.00
ECI発注のメリットを生かせる手法	2.00	2.00	
関係者と円滑にコミュニケーションを図る手法	2.00	2.00	
コスト増加を抑制できるコントロール手法	2.00	1.00	
基本設計の改善できる提案	2.00	0.67	
その他提案（4項目まで）	2.00	0.67	
その他提案（4項目まで）	2.00	1.00	
その他提案（4項目まで）	1.33	1.33	
その他提案（4項目まで）	0.67	1.67	
施工段階の実施方針に関する提案	14.67	13.33	16.00
隣接する既設病院インフラのノンダウン化への配慮	2.00	2.00	
隣接する既設病院、周辺住民への騒音・振動・安全対策等の配慮	2.00	1.33	
コスト増加を抑制できるコントロール手法	1.67	1.67	
施工を円滑に進めるために行う関係者とのコミュニケーション手法	2.00	2.00	
工事状況の市民への公開方法	2.00	2.00	
その他提案（3項目まで）	1.33	2.00	
その他提案（3項目まで）	2.00	1.67	
その他提案（3項目まで）	1.67	0.67	
工期短縮に関する提案	6.00	6.00	6.00
品質を確保した上で工期短縮を図る方法（最大6か月とする）	6.00	6.00	
荒尾市内事業者の活用に関する提案	11.33	8.33	12.00
荒尾市内建設事業者の活用方法（2項目）	2.00	0.67	
荒尾市内建設事業者の活用方法（2項目）	2.00	1.67	
荒尾市内事業者からの建設資材の購入計画	2.00	1.00	
上記以外の業種の活用方法	2.00	2.00	
その他提案	1.33	1.00	
上記の履行確認・モニタリング方法	2.00	2.00	

3) 価格評価

価格評価については、VE提案書の採用された項目を含めたVE提案採用後概算工事費の提出を受けて、実施要項に示した計算式で算出しました。

なお、実施要項で示した計算式及び評価点は下記のとおりです。

価格評価点の算出に当たって、各参加者のVE提案採用後概算工事費を工事費上限額で割り参考見積提案率（％）を算出しました。

$$\text{参考見積提案率 } x (\%) = \frac{\text{VE提案採用後概算工事費}}{\text{工事費上限額}} \times 100$$

$$\text{【H社の参考見積提案率：92.86％】} = (11,143,000,000 \text{ 円} \div 12,000,000,000 \text{ 円}) \times 100$$

$$\text{【I社の参考見積提案率：84.99％】} = (10,199,200,000 \text{ 円} \div 12,000,000,000 \text{ 円}) \times 100$$

次に、参考見積提案率を基に、実施要項で定めた計算式で価格点を算出しました。

パターン1：参考見積提案率が85%以下の場合は30点とする。

パターン2：【85%＜参考見積提案率≦100%】における評価点は下記の計算式により求める。

$$\text{価格評価点算定式 } y = b \times (1 - x/a) + 10$$

x:(参考見積提案率－85%) y:価格評価点 a=15% b=20点

【H社の価格点：19.52点】 = 20点×(1-(92.86%-85%)/15%)+10点

【I社の価格点：30点】 = 参考見積提案率が85%以下

	H社	I社	最大値
価格	19.52	30.00	30.00

4) プレゼンテーション評価

プレゼンテーションの評価は、提出された技術提案書等についてプレゼンテーション・ヒアリングを実施したところですが、実施・実現できる効果的かつ具体的な取り組みの観点を分かりやすくプレゼンテーションし、ヒアリングにより疑問点等について明確に回答できたかを総合的に評価（2点・1点・0点）し、その平均点を評価点としました。

評価の結果は下記のとおりです。

	H社	I社	最大値
プレゼンテーション	2.00	0.50	2.00

5) 評価結果の合計（最終結果）

各評価項目の合計は下記のとおりとなり、I社を最優秀者として特定しました。

■評価集計表

	H社	I社	最大値
実績	18.00	18.00	18.00
技術提案	46.00	38.00	50.00
実施設計段階の実施方針に関する提案	14.00	10.33	16.00
施工段階の実施方針に関する提案	14.67	13.33	16.00
工期短縮に関する提案	6.00	6.00	6.00
荒尾市内事業者の活用に関する提案	11.33	8.33	12.00
価格	19.52	30.00	30.00
プレゼンテーション	2.00	0.50	2.00
合計	85.52	86.50	100.00

5 講評

荒尾市民病院の新病院建設については、これまで基本構想・基本計画で取りまとめた医療機能を踏襲したかたちで、平成30年度より基本設計が進められてきました。

基本設計を進める中で、さまざまな課題が判明し、実施設計段階でその課題を解決するため、実施設計段階から施工予定者（作り手）が参画し、これまで経験したものづくりのノウハウを設計段階から取り入れることができ、一般的に「工事費の縮減」や「工期短縮」等が望める手法として、ECI方式が採用されたところです。

具体的な課題としては、昨今の社会情勢の変化による「建設資材の高騰」や、働き方改革による「人件費の高騰」及び「人材の確保」、また、現場条件（営業中の病院に近接・住居の近接・地質条件）による工期の遅延も予想され、荒尾市民病院が求める適正な品質を確保しつつも、「工事費の縮減」と「工期の短縮」を達成できる施工予定者を選定するため、「実績」「技術提案」「価格」の面から、課題解決に向けた効果的かつ具体的な提案を求め、有効な提案を行った者を最優秀者として選定することとしました。

このような課題に対して、十分な施工実績を有する2者から、さまざまな課題に対して具体的な提案をいただきましたが、特に荒尾市民病院がECI方式を採用した目的である「工事費の縮減」と「工期の短縮」については十分満足する提案であったと考えております。

また、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大による医療機関の施設の脆弱性が懸念される中、新病院では、一般病棟を全室個室で整備する計画であり、入院患者への療養環境の向上と合わせて、感染症への効果的な対応が十分可能であると考えておりましたが、技術提案書では更なる感染対策として、感染症対応専用エレベーターの追加整備や、感染症病室だけではなく、同一フロアの空調システムを感染症に対応できるものに変更する提案がなされ、感染症全般への対応強化につながる有効な提案であったと評価できました。

これらのことを踏まえ、「実績」「技術提案」「価格」「プレゼンテーション」の各評価事項により評価を行い、評価点を算出した結果、僅差でI社（安藤・間・吉村建設工事共同企業体）を最優秀者として決定することとなりました。

今後、最優秀者となりました安藤・間・吉村建設工事共同企業体におかれましては、本プロポーザルを通して提案いただいた技術提案等を実施設計に効果的に盛り込み、有明医療圏の中核病院として質の高い病院の早期建設に向けたご支援をお願いします。

最後に、本プロポーザルに参加していただいた方々に感謝を申し上げ、本プロポーザルの公表とさせていただきます。